



10・7 2 カ年

パレスチナ連帯闘争

10 月 7 日 (火) 13:00 集合 13:30~デモ出発

(集会後、イスラエル大使館に向けたデモを行います)

場所：外濠公園 (市ヶ谷駅そば)

主催：パレスチナ解放連帯闘争実行委員会

左写真：7・17 イスラエル大使館弾劾行動

右写真：ガザ市で炊き出しを受け取るために押し合うパレスチナ人民

パレスチナ解放連帯闘争実行委員会

東京都杉並区下高井戸 1-34-9

03 - 3329 - 0168

地図上のピンが集合場所です。



2023 年 10 月 7 日にイスラエルがパレスチナ・ガザ地区に軍事侵攻を開始してから 2 年が経過しようとしています。

パレスチナ人民がイスラエルによるパレスチナ支配・占領を打ち破るものとして敢行した「アル・アクサの洪水」に対しイスラエルはパレスチナ人民の大量虐殺で持ってパレスチナ解放の闘いを圧殺しようとしています。

今年 8 月 27 日の時点でパレスチナ人民の死者は少なくとも 6 万 2000 人に達しています。死因の大多数がイスラエル軍による攻撃や深刻な栄養失調によるものです。

イスラエルは国防相カッツの指示の下に、ガザ地区の全人口を収容する為の区域を建設しようとしています。それはガザ南部の都市ラファの廃墟の上に建設され、パレスチナ人民が一旦その区域に入れば出ることは許されないというものです。

これはかつてナチス・ドイツが行ったホロコーストの為の強制収容所と全く同じ性質の物に他なりません。イスラエルが手を染めているのは民族浄化＝ジェノサイドです。絶対に阻止しなければなりません。イスラエルによる「人道都市」＝強制収容所建設を阻止しよう。

ガザ地区では度重なる空爆によって人々は家を失い、インフラが破壊され住民は飢餓に陥っています。イスラエルは外部からの人道支援物資の搬入を組織的に妨害しています。パレスチナ連帯を闘う労働者人民によるガザ地区への船による救援物資輸送に対してもイスラエルは特殊部隊を投入し船を拿捕し物資輸送を阻んでいます。

国連は 8 月 22 日にガザでの飢饉を公式に宣言しました。この宣言に対してイスラエル首相ネタニヤフは「完全な嘘」と居直り、国防相カッツは「イスラエルの条件で戦争を終わらせない限り、イスラエルはガザ市を他の地域と同様に破壊する」とパレスチナ人民へのジェノサイドを続けようとしています。

パレスチナ人民はイスラエル「建国」以降、パレスチナ解放へ実力闘争・武装闘争で闘い抜いています。パレスチナ人民のインティファダと結びつき、日帝足下からパレスチナ解放連帯の闘いを巻き起こそう。

日帝石破政府はイスラエルと支援国である米帝に「配慮」しパレスチナ人民虐殺に加担し続けています。虐殺に加担する石破政府を打倒しよう。

ガザ侵攻 2 カ年の 10 月 7 日、イスラエル大使館を直撃するデモを闘おう。

10・7 ガザ侵攻 2 カ年 パレスチナ人民虐殺を許すな！パレスチナ解放！

9・25 パレスチナ連帯集会

日時：9 月 25 日（木）18：00～ 場所：中央区・京橋区民館 3 号室

主催：パレスチナ解放連帯闘争実行委員会